

科目名	イノベーション・マネジメント特殊講義	科目名/Subject	Innovation Management(Special Lectures)		
担当教員	秋池 篤	担当教員/Instructor	ATSUSHI AKIIKE		
曜日・講時	月曜2限				
対象学年	3・4				
科目ナンバリング	EAL-MAN361J				
単位数	2単位				
メディア授業科目					
主要授業科目					
授業の目的と概要	この授業では、イノベーション・マネジメントに関してベースとなる内容を理解することを目的とします。授業は、イノベーションに関する代表的な論文を取り上げ、当該テーマの講義と履修者による報告をベースに進めていきます。				
学修の到達目標	1.イノベーション・マネジメント論の理論を説明できる。 2.イノベーション・マネジメント論に関する論文の内容を理解する。 3.イノベーション・マネジメントに関する理論を事例に応用できる。				
授業内容・方法と進度予定	この授業は、イノベーション・マネジメント理論を、同分野の代表的論文をもとに、学習します。 学生は、事前に各回で取り上げる論文をよみ、内容のまとめとコメントを準備し、講義の3日前までに提出します。授業は論文に関するテーマをレクチャーしたのち、担当の学生が論文に登場する概念の概要を説明したのちに、関連した事例を報告します。 なお、講義の連絡などはgoogle classroomを用います。クラスコード：s4vyc7t 授業の計画は以下の通りです。 1. Introduction 2. The process of innovation. 3. Consumer and Innovation 4. Why firms can not react to innovation well? The perspective of technological aspects. 5. Product architecture and innovation 6. Why firms can not react to innovation well? The perspective of market aspects. 7. 1st mini-exam and explanation 8. The Role of Legitimacy in Innovation 9. Product category and innovation 10. User innovation 11. Open innovation 12. Design innovation 14. Innovation implementation 15. 2nd mini exam explanation *履修人数次第で計画が若干変化する可能性があります。論文については授業時に紹介します。				
実務・実践的授業					
使用言語	英語				
成績評価方法	1.論文の内容への事前のコメント・質問・・・30% 2.担当箇所の報告・・・10% 3.小テスト・・・40% 4.最終レポート・・・20%				
教科書および参考書					
書名	著者名	出版社	出版年	ISBN/ISSN	資料種別
関連URL	https://classroom.google.com/u/1/c/NzQ5MjM0MTk3NzQz				
授業時間外学修	予習・・・論文について要約、コメントを考え提出してください。 復習・・・小テスト及び最終レポートのために論文の内容、概念を復習してください。				

添付ファイル	
その他	・ オフィスアワー、教員の連絡先は講義開始時に指示します。
更新日付	

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間です。